

令和6年度当初予算では、労務単価及び資材価格の高騰を踏まえて公共事業予算を確保し、生産性向上や効率化のためのデジタル化及び脱炭素社会の実現に向けたグリーン化の観点を取り入れつつ、次の3点を柱に、令和5年度国土強靱化等補正予算と合わせて切れ目なく取組を進め、施策効果の早期発現を図る。

(施策推進の3本柱)

1 強靱な県土づくりの強力な推進

緊急輸送道路の機能確保、流域治水対策、インフラの耐震・老朽化対策、住宅・建築物の耐震化、危機管理体制の強化、道路・河川管理体制におけるデジタル化 等

2 暮らしに身近な課題への対応の強化

雑草抑制対策の充実、通学路等の交通安全対策、河川・砂防ダムの堆積土砂撤去、流域下水道の整備、空き家の活用や除却の支援 等

3 豊かで活力のある地域づくりの推進

産業の活性化に向けた道路整備、賑わい創出のための道路空間再編、子育て世帯にも配慮した公園への再整備、移住者向け住まいの確保、観光誘客の促進に向けた取組、花とみどりの活用推進 等

(公共事業の的確な推進)

建設産業活性化に向けた取組（担い手の確保、労働環境の改善、生産性の向上）等